

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.194

2024年3月期 調査



<調査要項>

・調査時点	2024年	3月上旬	
・調査対象期間	2024年	1-3月実績	
	2024年	4-6月見通し	
・調査対象企業	当金庫取引先	450社	
	有効回答数	440社 (有効回答率97.7%)	
・業種別企業数	製造業	135社、卸売業	67社
	小売業	90社、運輸・サービス業	56社
	建設業	67社、不動産業	25社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査		

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index, 拡散指数)による分析方法を採用しています。各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

 姫路信用金庫

1 - 3 月の概況

● 当金庫取引先の景況感は前期より悪化

当金庫取引先の 2024年1-3月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の 12.0%で前期 (2023年 10-12 月期 14.4%) から▲2.4ポイント、「悪い」は 22.7%で前期 (同 19.6%) から+3.1ポイント。全業種総合の業況判断 DI は、前期▲5 から▲6ポイントの▲11となった。

業種別で見ると、製造業の業況判断 DI は、前期▲4から▲9ポイントの▲13、非製造業の業況判断 DI は、前期▲6 から▲4ポイントの▲10となった。

● 来期は改善の見通し

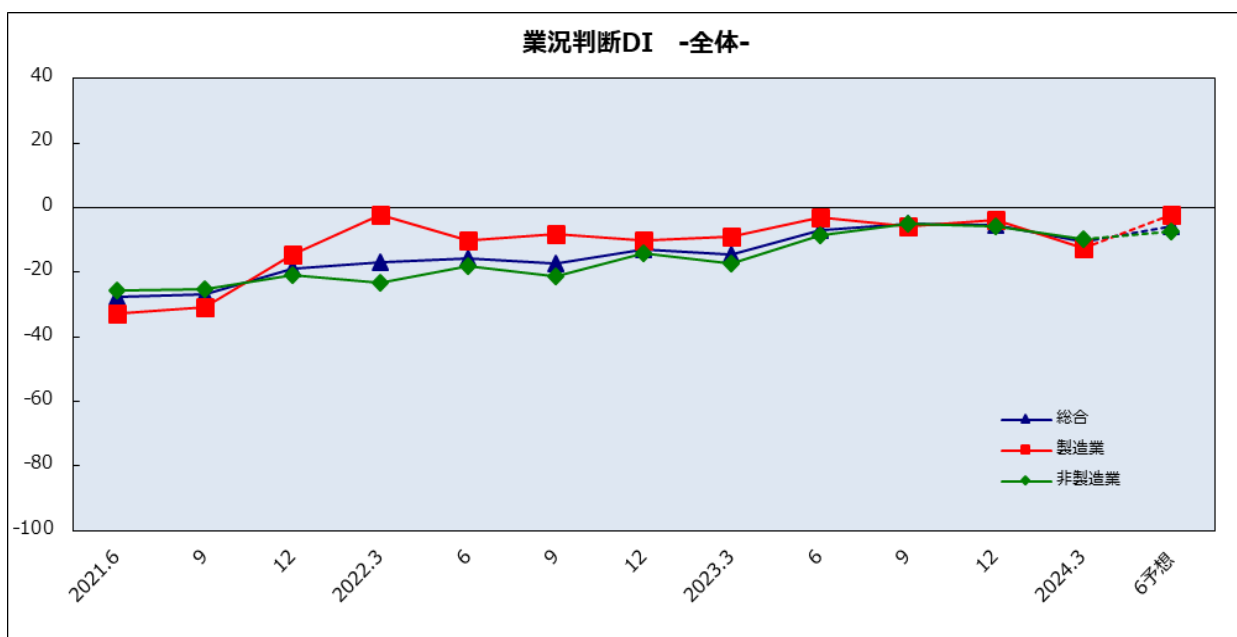
来期 (2024年 4-6 月期) の全業種総合の予想業況判断 DI は、今期▲11 から+5ポイントの▲6となる見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断 DI は今期▲13 から+11ポイントの▲2、非製造業は今期▲10 から+2ポイントの▲8となる見通しである。

■ 最近の業況判断 DI の推移

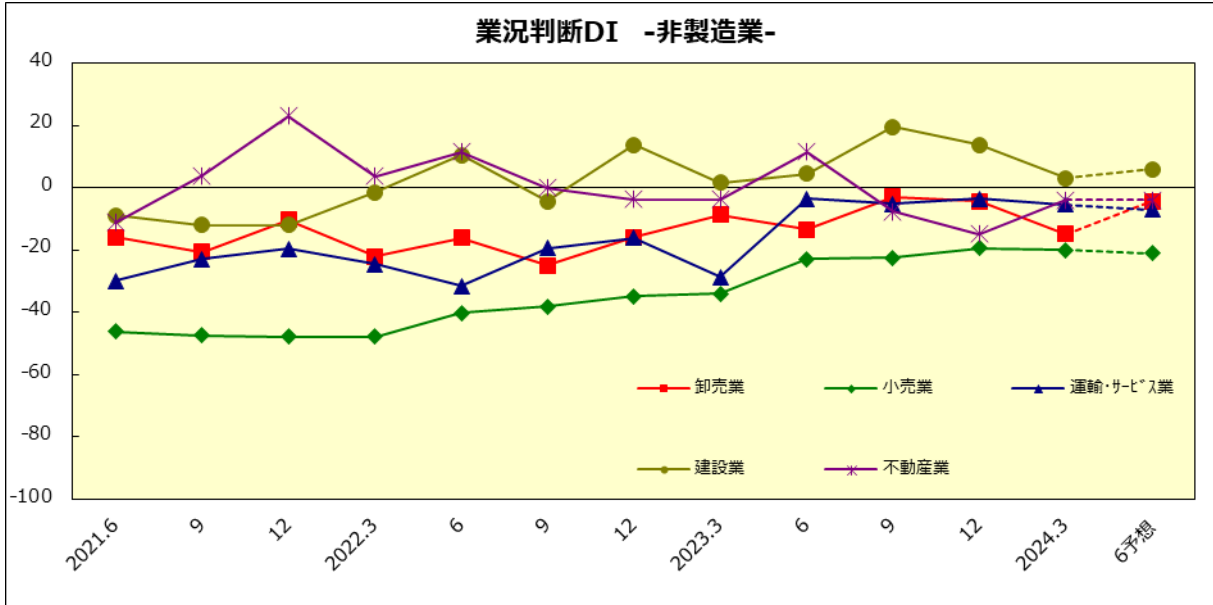
・ 業況判断 DI (総合)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期
総合 (440社)		-15 (↓)	-7 (↑)	-5 (↑)	-5 (→)	-11 (↓)	-6 (↑)
製造業 (135社)		-9 (↑)	-3 (↑)	-6 (↓)	-4 (↑)	-13 (↓)	-2 (↑)
非製造業 (305社)		-17 (↓)	-8 (↑)	-5 (↑)	-6 (↓)	-10 (↓)	-8 (↑)

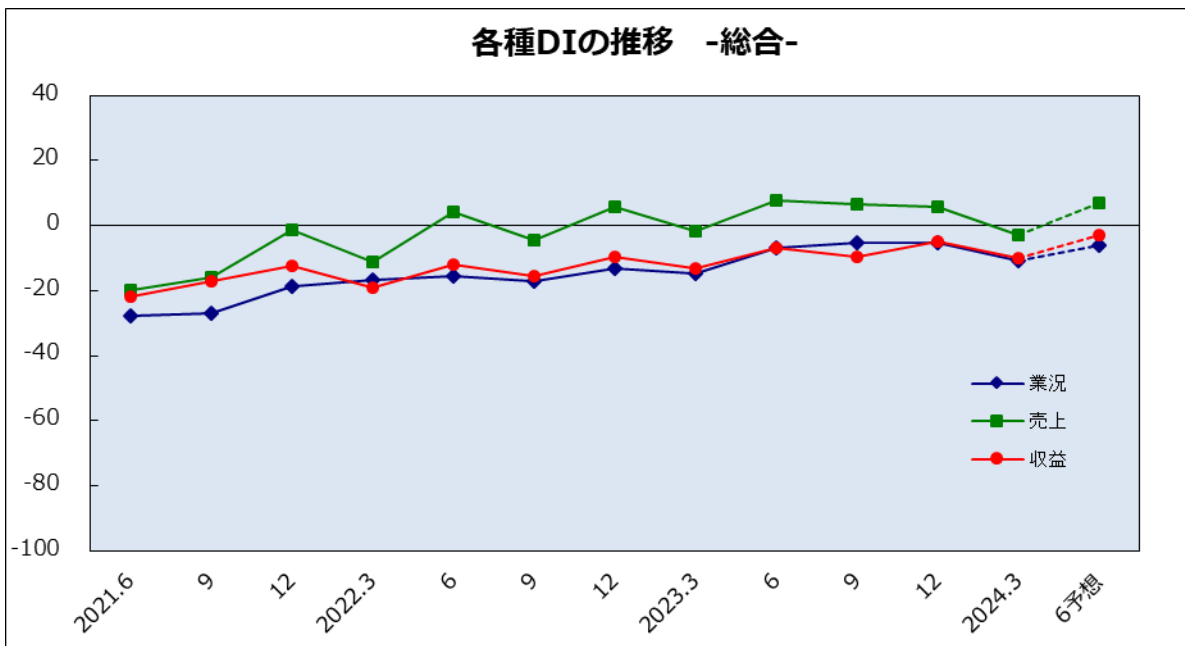


・業況判断 DI (非製造業)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期
卸売業 (67社)		-9 (↗)	-13 (↘)	-3 (↗)	-4 (↘)	-15 (↘)	-4 (↗)
小売業 (90社)		-34 (↗)	-23 (↗)	-23 (→)	-19 (↗)	-20 (↘)	-21 (↘)
運輸・サービス業 (56社)		-29 (↘)	-4 (↗)	-5 (↘)	-4 (↗)	-5 (↘)	-7 (↘)
建設業 (67社)		1 (↘)	5 (↗)	19 (↗)	14 (↘)	3 (↘)	6 (↗)
不動産業 (25社)		-4 (→)	12 (↗)	-8 (↘)	-15 (↘)	-4 (↗)	-4 (→)



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



製 造 業 135 社

●前期から悪化

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の15.6%で前期(16.9%)から-1.3ポイント、「悪い」は28.1%で前期(20.6%)から+7.5ポイント。業況判断DIは前期▲4から-9ポイントの▲13となり、前期から悪化した。

来期は金属製品、一般機械器具など7業種で改善、食料品など14業種で横這いと予想しており、予想業況判断DIは今期▲13から+11ポイントの▲2と改善する見通しである。

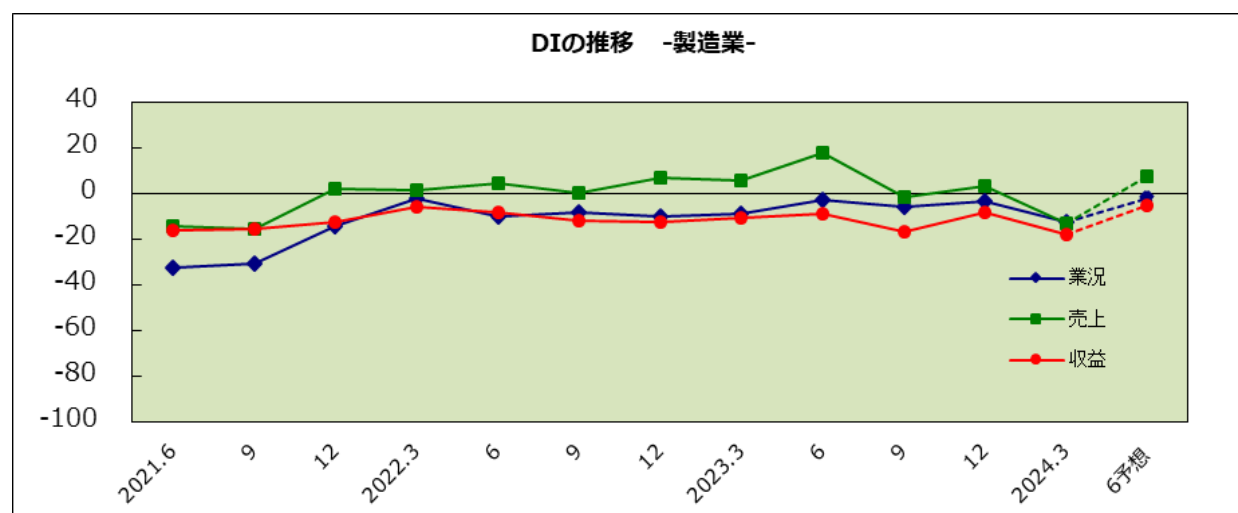
●今期は21業種中、2業種で改善、9業種で悪化

電気機械器具など2業種で改善、金属製品、一般機械器具など9業種で悪化
21業種中…業況改善2業種 / 業況横這10業種 / 業況悪化9業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期
金属製品 (19社)		-17 (↗)	-5 (↗)	-25 (↘)	-41 (↘)	-42 (↘)	-16 (↗)
一般機械器具 (17社)		6 (↗)	-6 (↘)	0 (↗)	-6 (↘)	-12 (↘)	-6 (↗)
輸送用機械器具 (14社)		0 (↘)	27 (↗)	0 (↘)	18 (↗)	-9 (↘)	9 (↗)
食料品 (11社)		-21 (↘)	-14 (↗)	-14 (→)	-7 (↗)	-7 (→)	-7 (→)
電気機械器具 (8社)		-38 (→)	-50 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)	-13 (↗)	-13 (→)
皮革製品 (8社)		13 (→)	50 (↗)	50 (→)	50 (→)	-13 (↘)	25 (↗)
プレス・メッキ (7社)		14 (→)	-29 (↘)	-14 (↗)	-14 (→)	-14 (→)	-14 (→)
建築用金属製品 (7社)		-14 (↗)	0 (↗)	-29 (↘)	13 (↗)	0 (↘)	0 (→)
窯業・土石 (5社)		-40 (↘)	-20 (↗)	40 (↗)	40 (→)	40 (→)	40 (→)
出版・印刷 (5社)		-17 (↗)	0 (↗)	-33 (↘)	20 (↗)	20 (→)	20 (→)
繊維製品(靴下) (5社)		-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	0 (↗)

調査員のコメント

- ・賃上は既実施済みだが、更なる賃上げなど固定費の上昇に危惧している。(金属製品)
- ・人手不足は長年の課題であるが、シニア世代の雇用採用で補充している。(輸送用機械器具)
- ・海外実習生が帰国した際は人手不足となるため、今後の採用は慎重にしたい。(鉄鋼業)



●前期から悪化

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の3.0%で前期(11.9%)から▲8.9ポイント、「悪い」は17.9%で前期(16.4%)から+1.5ポイント。業況判断DIは前期▲4から▲11ポイントの▲15となり、前期から悪化した。

来期は機械器具、農畜産物・水産物などの4業種で改善、金属材料、化学製品など5業種で横這いと予想しており、予想業況判断DIは今期▲15から+11ポイントの▲4と改善となる見通しである。

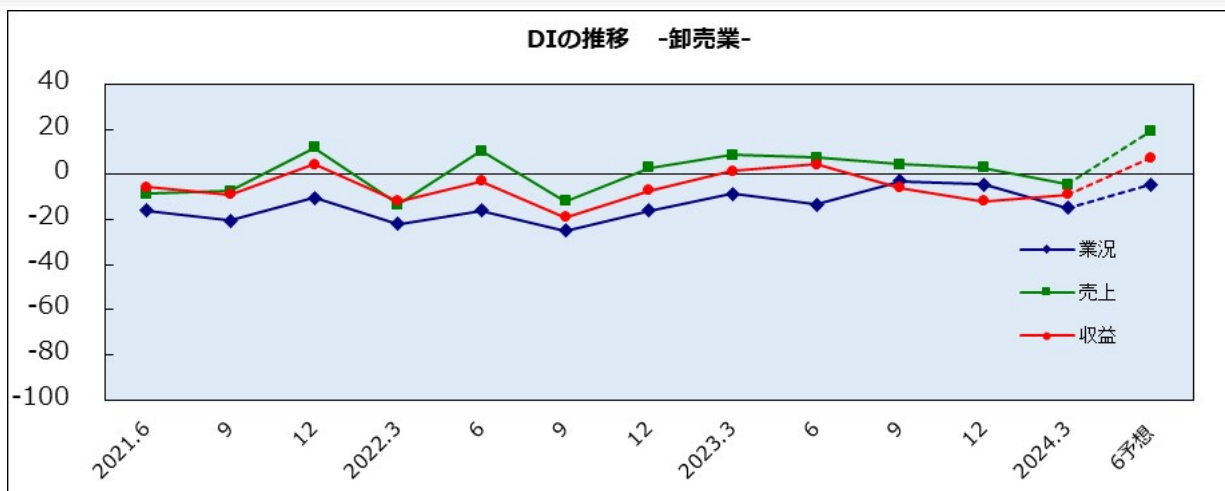
●今期は9業種中、3業種で改善、4業種で悪化

飲食料品、衣服身回品など3業種で改善、機械器具、農畜産物・水産物など4業種で悪化した。
9業種中・・・業況改善3業種 / 業況横這2業種 / 業況悪化4業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期
機械器具	(19社)	5(↗)	-11(↘)	16(↗)	16(→)	-11(↘)	-5(↗)
農畜産物・水産物	(10社)	-55(↘)	-50(↗)	-40(↗)	-27(↗)	-40(↘)	-20(↗)
建築材料	(9社)	0(→)	0(→)	11(↗)	11(→)	-22(↘)	0(↗)
飲食料品	(8社)	11(→)	-22(↘)	0(↗)	-29(↘)	-13(↗)	13(↗)
金属材料	(6社)	0(↗)	0(→)	0(→)	0(→)	-17(↘)	-17(→)
化学製品	(3社)	0(↗)	0(→)	0(→)	0(→)	0(→)	0(→)
衣服身回品	(2社)	-50(↘)	-33(↗)	-50(↘)	-33(↗)	0(↗)	0(→)
再生資源	(2社)	0(→)	50(↗)	0(↘)	0(→)	50(↗)	50(→)
家具建具じゅう器	(1社)	-100(→)	0(↗)	0(→)	0(→)	0(→)	0(→)
その他	(7社)	0(→)	0(→)	-14(↘)	-17(↘)	-14(↗)	-14(→)

調査員のコメント

- ・令和4年度は売上減少、令和5年度は売上例年通りまで回復、R6年度は現状維持できれば利益確保が可能となる見込み。(農畜産物・水産物卸業)
- ・従業員の高齢化、中堅社員から下の若手が不足、通年にて採用活動を実施している。採用活動と並行して社員教育の安定化を図っていく方針。(機械器具)
- ・若手職員を役職へ積極登用するなどモチベーションの向上を図り、人材流出の抑制を図っている。(鉱物金属材料・燃料)



小 売 業 90社

●前期から小幅悪化

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の8.9%で前期(9.7%)から▲0.8ポイント、「悪い」は28.9%で前期(29.0%)から▲0.1ポイント。業況判断DIは前期▲19から▲1ポイントの▲20となり小幅悪化した。

来期は飲食料品、スーパー・コンビニなどの2業種で改善、ガソリン、家電機器など2業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲20から▲1ポイントの▲21と小幅悪化する見通しである。

●今期は12業種中、3業種で改善、3業種で悪化

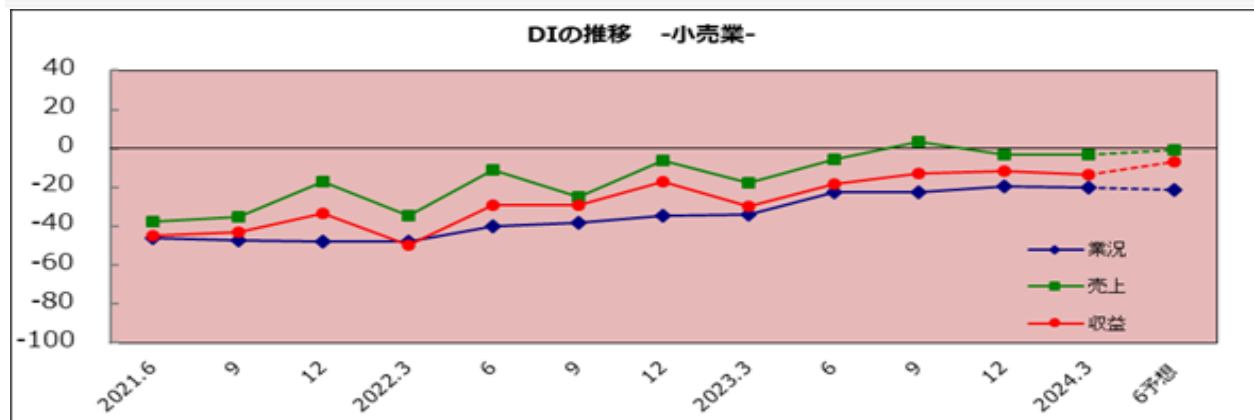
飲食料品、飲食店など3業種で改善、衣服身回品など3業種で悪化した。

12業種中…業況改善 3業種 / 業況横這 6業種 / 業況悪化 3業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期
飲食料品	(24社)	-46 (↗)	-33 (↗)	-32 (↗)	-29 (↗)	-21 (↗)	-17 (↗)
衣服身回品	(15社)	-64 (↘)	-47 (↗)	-56 (↘)	-38 (↗)	-40 (↘)	-40 (→)
飲食店	(11社)	-36 (↗)	-10 (↗)	-9 (↗)	0 (↗)	9 (↗)	9 (→)
ガソリン	(9社)	40 (↗)	-33 (↘)	-40 (↘)	-17 (↗)	-17 (→)	-50 (↘)
自動車	(9社)	-25 (↗)	0 (↗)	0 (→)	-11 (↘)	-11 (→)	-11 (→)
スーパー・コンビニ	(6社)	11 (→)	10 (↘)	0 (↘)	11 (↗)	-22 (↘)	-11 (↗)
書籍・文具	(4社)	0 (→)	0 (→)	-33 (↘)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)
家電機器	(3社)	0 (↗)	-50 (↘)	25 (↗)	0 (↘)	50 (↗)	0 (↘)
医薬品・化粧品	(2社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品	(2社)	-100 (→)	-50 (↗)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
時計・眼鏡	(2社)	-67 (↘)	-50 (↗)	-50 (→)	-100 (↘)	-100 (→)	-100 (→)
木材建築材料	(2社)	-100 (↘)	-100 (→)	0 (↗)	0 (→)	-100 (↘)	-100 (→)
その他	(1社)	-75 (→)	20 (↗)	0 (↘)	-20 (↘)	-25 (↘)	-25 (→)

調査員のコメント

- ・残業時間の大幅削減は勤務時間内の業務のしわ寄せを招いたため、労働環境の改善を図り、賃金体系の見直しを実施し賃上げを行った。(飲食料品)
- ・ガソリンスタンドの従業員は、非正規社員が多く高齢化が進んでいる。残業時間の上限規制が始まることによりガソリン消費量の減少が懸念される。(燃料)
- ・商圈人口が減少し、売上の維持が難しい様子。値上げや廃棄ロスに対して注力されており、売上・利益を保っている。(飲食料品)



●前期から小幅悪化

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の 14.3%で前期から横這い、「悪い」は 19.6%で前期(17.9%)から+1.7ポイント。業況判断 DI は前期▲4 から▲1ポイントの▲5となり、前期から小幅悪化した。

来期は運輸業、自動車整備・駐車場など 6 業種で横這い、クリーニング・理容・美容の 1 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は、今期▲5 から▲2ポイントの▲7と小幅悪化する見通しである。

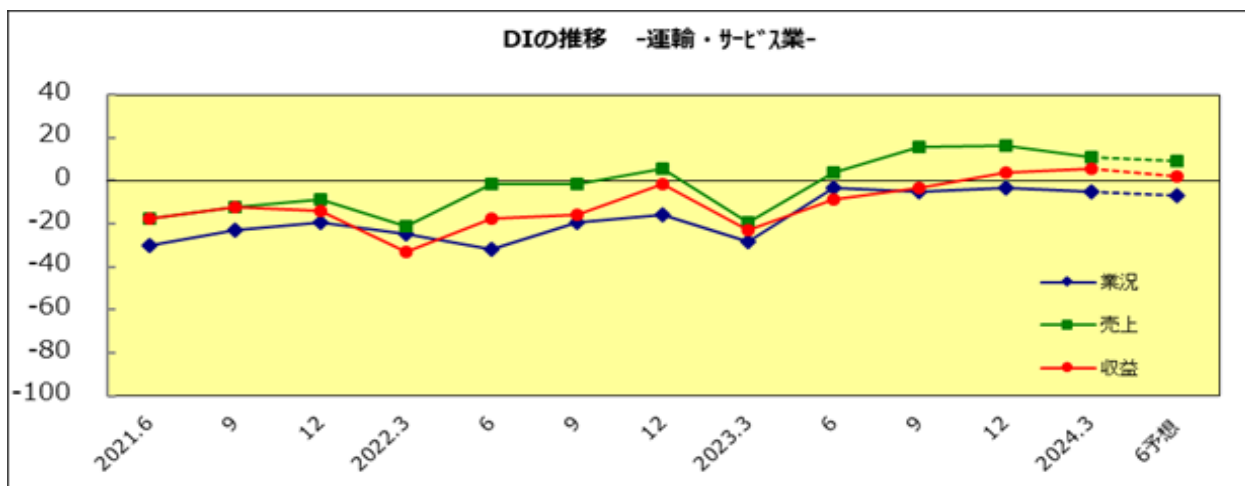
●今期は 7 業種中、3 業種で改善、3 業種で悪化

自動車整備・駐車場、クリーニング・理容・美容など 3 業種で改善、運輸業など 3 業種で悪化した。
7 業種中・・・業況改善 3 業種 / 業況横這 1 業種 / 業況悪化 3 業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期
運輸業	(14社)	-15 (↓)	-8 (↑)	0 (↑)	29 (↑)	14 (↓)	14 (→)
自動車整備・駐車場	(14社)	-22 (→)	10 (↑)	0 (↓)	-11 (↓)	-10 (↑)	-10 (→)
クリーニング・理容・美容	(10社)	-71 (↓)	14 (↑)	29 (↑)	-29 (↓)	-14 (↑)	-29 (↓)
修理業	(7社)	-33 (↑)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	0 (↑)	0 (→)
情報サービス・調査・広告	(4社)	-100 (↓)	-25 (↑)	-50 (↓)	-25 (↑)	-25 (→)	-25 (→)
物品賃貸	(3社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-50 (↓)	-50 (→)
旅館宿泊所	(2社)	-50 (→)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	-50 (↓)	-50 (→)
その他	(2社)	-19 (↓)	-7 (↑)	-13 (↓)	-6 (↑)	0 (↑)	0 (→)

調査員のコメント

- ・近年、大口受注が減少しており、反面ネット通販の増加により物流運搬の単価が小口化、利益構造等の見直しや価格交渉が必要となる。(運輸業)
- ・売上増加額以上の労務費増加が収益を圧迫しており、作業効率を上げるために現場管理の育成や適切な人員配置、パート・アルバイト活用見直しが課題である。(洗濯・理容・浴場)
- ・人員不足により配達が遅れることが予想されるため、採用時期をこれまでより 1~2 回余裕を持って実施し、人材確保に努めている(その他修理業)



●前期から悪化

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の17.9%で前期(22.7%)から▲4.8ポイント、「悪い」は14.9%で前期(9.1%)から+5.8ポイント。業況判断DIは前期+14から▲11ポイントの+3となり、前期から悪化した。

来期は総合工事、設備工事で改善、職別工事で悪化と予想しており、予想業況判断DIは、今期+3から+3ポイントの+6と改善する見通しである。

●今期は3業種中、全ての業種で悪化

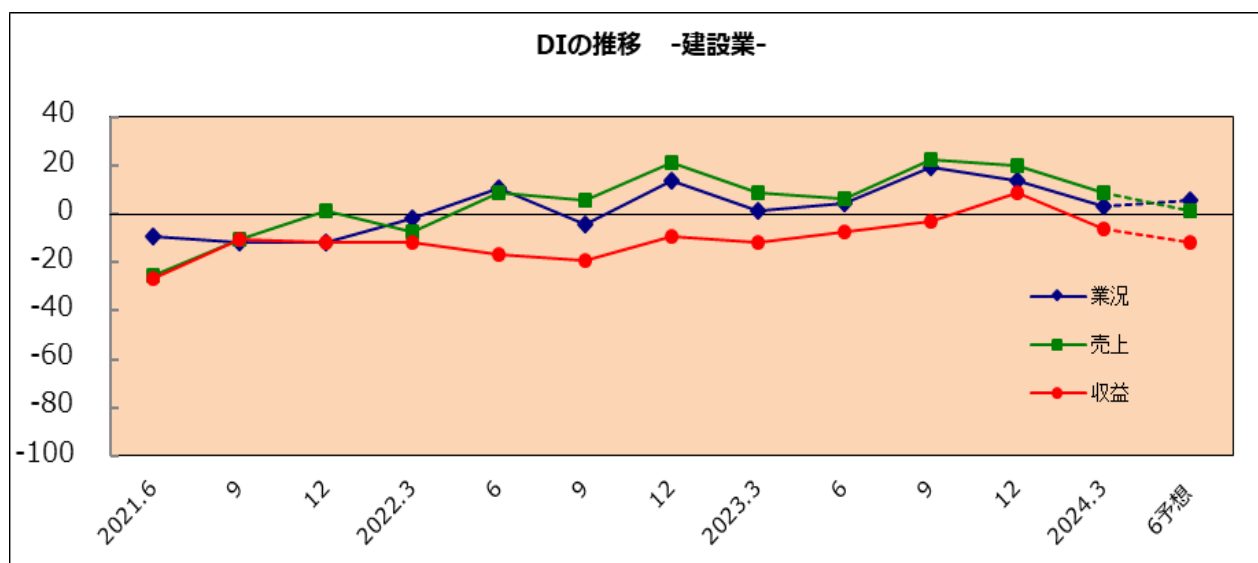
総合工事、職別工事、設備工事の全ての業種で悪化した。

3業種中…業況改善 0業種 / 業況横這 0業種 / 業況悪化 3業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期
総合工事	(33社)	-6(↓)	-6(→)	13(↑)	9(↓)	0(↓)	3(↑)
職別工事	(19社)	14(↓)	20(↑)	33(↑)	16(↓)	5(↓)	0(↓)
設備工事	(15社)	0(↓)	8(↑)	13(↑)	20(↑)	7(↓)	20(↑)

調査員のコメント

- ・官公庁からの入札も増加傾向ですが、職人不足や外注費の単価上昇により受注抑制を余儀なくされ、利益確保までは至っていない。(総合工事)
- ・従業員が少数のため賃金問題については懸念ないが、他社(大手)が残業時間を制限すると当社に仕事が回ってくるなどの好影響を期待している。(職別工事)
- ・大阪万博を控えており、県内の受注も抑え気味と感じ、人手不足は今のところ感じない。賃金引上げについては現在検討している。(職別工事)



不動産業 25社

●前期から改善

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の8.0%で前期(3.7%)から+4.3ポイント、「悪い」は12.0%で前期(18.5%)から▲6.5ポイント。業況判断DIは前期▲15から+11ポイントの▲4となり、前期から改善した。

来期は建売・土地売買、不動産代理・仲介など4業種全てで横這いと予想しており、予想業況判断DIは今期から横這いの▲4となる見通しである。

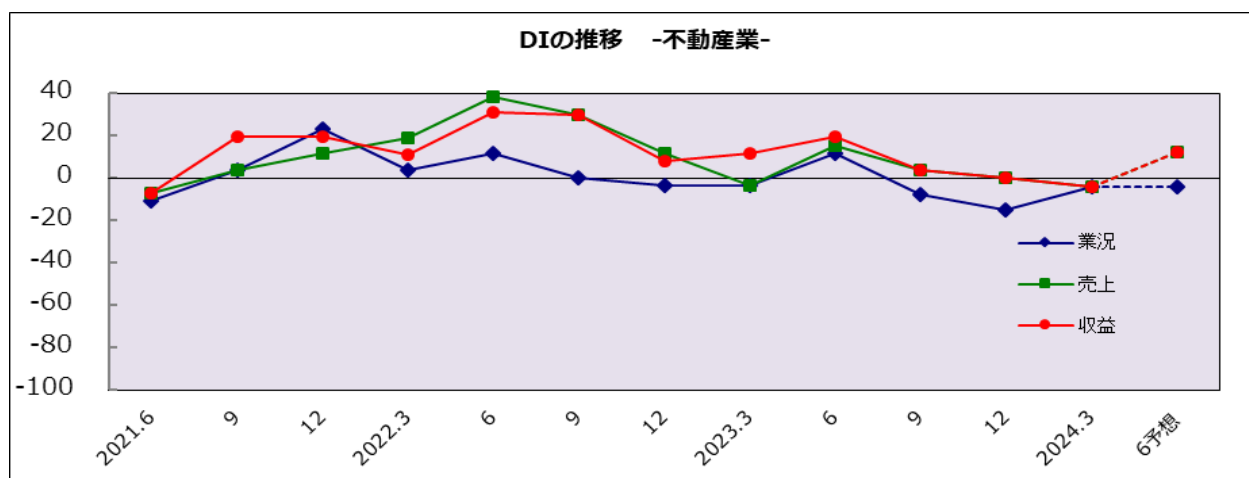
●今期は4業種中、3業種で改善、1業種で横這い

建売・土地売買、不動産代理・仲介など3業種で改善、貸事務所・土地賃貸の1業種で横這い
4業種中・・・業況改善3業種 / 業況横這1業種 / 業況悪化0業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期
建売・土地売買 (14社)		-17 (↓)	8 (↑)	-8 (↓)	-17 (↓)	-7 (↑)	-7 (→)
不動産代理・仲介 (6社)		11 (↑)	13 (↑)	-13 (↓)	-20 (↓)	-17 (↑)	-17 (→)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (↑)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (2社)		0 (↓)	100 (↑)	0 (↓)	0 (→)	100 (↑)	100 (→)
その他 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・仲介業は神戸以東の阪神間が活況、姫路近郊は不動産売買が鈍化。阪神間の不動産、建築価格は4月以降、更に値上りする見通しである。(建売・土地売買)
- ・業種柄、給料面についてはインセンティブの部分が増減に影響を与える。(不動産代理・仲介業)
- ・従業員の資格取得に向けて費用の一部を負担するなど人材育成を主要な経営方針として捉えている。(不動産代理・仲介業)



~MEMO~